

南会津町の湿原を守る会 たより

第14号
2020年
5月28日
発行

今年も新型コロナウイルス感染症感染防止のため、総会も役員総会となりました。今後は段階的に県をまたぐ移動が解除され、湿原をはじめ屋外を中心に出かけることも出来ると思います。安全に配慮し活動を始める計画です。

2019年は、2018年から継続して行ってきた、駒止湿原周囲のブナの成長調査や毎年行っている外来種駆除を行いました。ブナの生長調査は、平成26年から28年にかけて植樹したブナがどのように生長するかを調査し、データをとり考察しています。樹木に番号をつけ毎月調査員が、樹高・幹の太さなどを計測してきました。定点観測で1本の木がどのように生長するか、発見がたくさんありました。

また、福島県林業会館フォレスト助成を受け「針生駒止の森・ブナ林」の植生調査と、「環境学習会」を行いました。湿原出口付近のブナ林の植生調査は、これまで多くの調査・研究を行ってきた長島成和（しげかず）先生と、調査メンバーが行いました。植物とともに地質の調査も行い湿原とのかかわりを考察しました。10月には、全会員を対象に、このブナ林内の「ぶなっこ遊歩道」で環境学習会を行い、参加者は植物を深く知るとともに、森林浴を体験しました。

「駒止湿原ブナ林環境学習の森」遊歩道 「針生駒止の森・ぶなっこ遊歩道」で植生調査と環境学習会



長島先生と、植物の数を数える



ぶなっこ遊歩道中間のブナを囲んで

2019年7月4日 外来種植物除去作業 駒止湿原周囲開拓農道と駐車場

2班にわかれ駐車場から白樺谷地入り口まで丁寧に除去。東北電力田島電力センターの所員を含め16人が参加しました。ブタクサやシオン、ヘラオオバコなどを多く除去。



ごみ袋10袋分除去



駒止湿原周囲の開拓地は戦前戦後の食糧難のためにブナ林は伐採され、大根やそばなどが栽培されてきた。会では平成26年から29年にかけて植樹したブナと、白樺など27本を選び調査。特徴を観察し、ノギス・メジャーで正確に測定しデータ化。

ブナの生長調査 定点観測を継続



R2年5月27日R2年度第1回目調査 2回目調査は6月27日の予定。
同行したい会員は3日前までに事務局へ連絡ください。

6/13.14~
10/31
3,000円

6月13日～入山が可能!密にならない様、座席を確保し、シャトルバスを運行。町外者3000円
町内者1500円0241-62-2250
0120915221 7日前まで予約!
13日希望の場合は6日までに

2020年5月27日、調査員による令和2年度の第1回ブナ生長調査が行われ同行。同日、湿原を取材。ワスゲの花は終わり、小さい綿毛に変わり始めていました。6月10日過ぎから6月末日頃まで湿原は真っ白になると予想。今後の情報はHPに掲載します。

県またぐ移動1日から

段階的に緩和 5都道県へは19日

期間	県またぐ移動	観光
～31日	・不要不急の県またぐ移動は極力避ける	・県外からの観光客の呼び込みは控え、県内観光から取り組む
6月1日～18日	・北海道、東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県との不要不急の往来はできるだけ控える	・観光客の呼び込みを認め、観光地で人と人との距離を確保する
6月19日～7月31日	・全面解除	・県外からの観光客の呼び込みを認め、観光地で人と人との距離を確保する

観光、18日まで県内向け

R2年5月27日 福島県発表
県内での移動は6月1日から
県外へは6月19日から
写真 福島民友新聞 5月28日記事



2020年(R2) 5月27日の大谷地



駒止湿原への針生側アクセス道路は2019年の台風19号で被害をうけました。再び自家用車で自由に入ることが出来なくなりました。入山は南郷側から、作業時とシャトルバスのみとなりました。今年度の作業は、外来種植物駆除、木道の修繕などを予定しています。作業後、湿原を観察ください。
写真 広報みなみあいづより

ニュース!
第32回森林レクリエーション協会
地域美しの森づくりコンクール 奨励賞受賞

三浦雄一郎氏が会長を務める(社)全国森林レクリエーション協会にて奨励賞を受賞しました。
日本森林林業振興会、前橋支店の推薦。
農林水産大臣賞・箕面の山パトロール隊 大阪府
林野庁賞・岩屋緑地に親しむ会 豊橋市

奨励賞
南会津町の湿原を守る会
東海大学山形高等学校
ほか3団体。
これまでの地道な活動が
評価されました。